

みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040 ～ 高校教育の創造的再構築 ～

みやぎの高校教育が新しく生まれ変わります

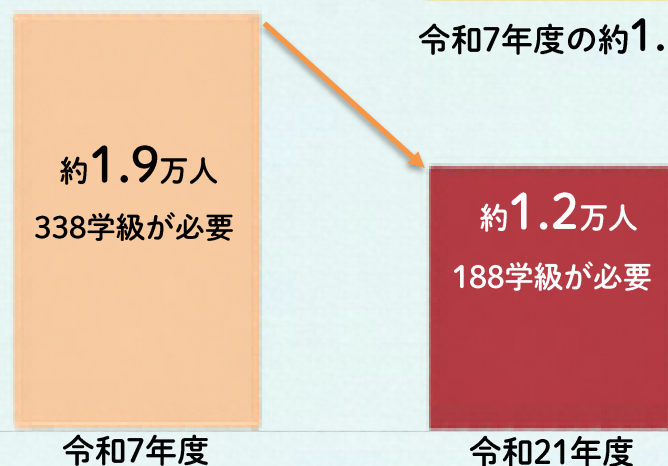
宮城県教育委員会では、急速な少子化や生徒の多様な教育的ニーズに対応するため、令和8年3月に『みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040』を策定しました。

宮城県全体を一つの「学校」としてとらえ、どこに住んでいても、質の高い学びにアクセスできる環境を整えます。

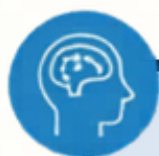
【背景】なぜ今、創造的再構築が必要なのか？（少子化の現状）

中学校卒業生数が14年間で約7,000人減少

令和7年度の約1.9万人から、令和21年度には約1.2万人まで減少する見込みです。



高校教育の創造的再構築に向けた取組



① 学力と探究を極め進学力も向上させる環境の整備

進学系拠点校を配置し、ピアグループの形成や、進学意識の高い生徒のための教育課程の充実など、希望進路の実現に向けた学習環境を整備します。



② 専門学科における実践的な学び

農業・工業・水産業の基幹校で先端技術を導入し、大学や企業等との連携によって、先端技術に関する学びの充実を図るとともに、より実社会と結び付いた学びの機会を提供するほか、科学技術高校の設置を検討し、科学のスペシャリストの育成を目指します。



③ 多様な学びのニーズへの対応

生徒の多様な生活・学習スタイルに応じて学ぶことのできるidealスクールや、通信制高校の充実を図るなど、安心して学びを継続できる環境を整備します。



④ オンラインの効果的な活用などによる教育空間の拡張

オンライン教育センターを設置し、学びの質を確保するとともに、希望する進路への対応など、生徒の多様な教育的ニーズに応じた教育環境を整備します。

“ 生徒を主語にした高校教育を実現します。 ”

NotebookLM

<問い合わせ先>

宮城県教育庁高校教育創造室 高校教育創造班 (TEL: 022-211-3617)

